



Global Enterprise Challenge(GEC)の紹介 (現中3～高2対象)



対象は高校生

15 - 19 歳の高校生
であることが参加
条件



チームで戦う

同じ団体に所属する
8 名以下のチーム
で登録



12時間の挑戦

当日出された課題の
解決案を 12 時間以内
に提出



英語はツール

提出物は英語で作
成する事業計画書
と動画



舞台は世界

国内予選で選ばれた
チームが世界大会に
出場

本競技は、国内予選 (GEC)、世界大会(GYEC)の2つのステージからなります。国内予選に参加し、最も優れた成果を残したチームが、次のステージである世界大会に出場する権利を獲得します。挑戦する課題 (challenge)は環境、エネルギー、産業、災害対策、教育など世界が共有する問題に関わるもので、競技では、その課題を科学技術を活用し、事業として持続可能な形でどのように解決するかを問われます。

参加者は3人以上8人以内でチームを結成し、12時間の間にその解決策を英語で2ページの事業プランと3分の動画プレゼンテーションにまとめて提出し、最終的に創造性・革新性、実現性、市場性、コミュニケーション能力などの点で総合的に評価・審査されます。

2020年に出された課題は次のようなものでした。

To propose an innovative business idea that uses scientific and technological solutions to support those with severe vision impairments (either partial or total blindness) in their daily lives. Particular emphasis should be placed on ways of making it easier for the visually impaired to get out of their homes and participate more fully in the life of the community. You will be presenting your idea to private investors with an interest in supporting entrepreneurs who are making contributions to the welfare of those with disabilities.

2021年大会スケジュール

事務局への応募期間：2021年1月18日（月）～2月25日（木）17時

事前学習会（参加必須）：2021年3月14日（日）9：00～20：00

国内予選：2021年3月28日（日）8：00～20：00

入賞チーム発表：2021年4月20日（火）

世界大会：2021年5月29日（土）8：00～20：00

入賞チーム発表：2021年6月16日（水）

参加条件

- 参加者は、世界大会の時点で、15歳から19歳の高校または高専生である
- 参加者は、競技規定を読み、それを守ることができる
- 参加するチームメンバーは3人以上8人以下である
- 参加者は全員事前学習会に参加できる
- メンバーが全員同じ場所又はインターネット上に集まって競技に参加できる
- 会場やインターネットへのアクセスなど本競技に必要な環境を確保できる
- 参加費（1人1,000円）を期日までに支払える
- 競技での提出物（自分達が撮影して送付した競技中の写真含む）の公開に同意できる
- 国内予選で日本代表に選ばれた場合は、世界大会に参加できる

本校からの応募に当たってのお願い

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ意味で現在本校では部活動の活動時間を制限しております。本大会は部活動とは性質が異なるものですが、本校で参加メンバーが一堂に会して大会に参加することを希望する生徒諸君も多いと推測します。残念ながら校内で12時間活動するのは難しい状況です。生徒諸君及び親御さんにはご負担をお掛けしてしまいますが、チームを編成するに当たっては参加生徒の自宅に集まるなどの工夫をして下さい。その意味である程度小回りの利く人数でチームを作った方がよいかもかもしれません。また上記の条件には書かれておりませんが、大会当日に生徒の安全確保・監督をする社会人の監督者（保護者等）が必要となります。監督者は課題内容についての助言はできないことになっています。学校側で大会の紹介をしておきながら親御さんに細々としたご負担をお掛けすることを心苦しく思いますが、事情をご理解いただけますと幸いです。

校内募集スケジュール

1校から応募できるのは最大3チームまでとなっています。仮に4チーム以上希望が出た場合には正式応募の前に調整が必要となりますので校内の応募締め切りを2021年1月12日（火）朝8時までとします。チームの代表生徒は以下のフォームに必要事項を記入してプリントアウトしたものをグローバル教育部に提出して下さい。フォームの上にある「責任者名、責任者連絡先」は校内申し込み段階では空欄で結構です。

https://www.entreplanet.org/GEC/dl/GEC2021_student_entryform.doc

大会の詳細については下記のURLをご覧ください。

<https://www.entreplanet.org/GEC/>

ボストンオンライン研修の紹介（中1～高2）

アメリカマサチューセッツ州のボストンにはハーバード大学、マサチューセッツ工科大学など世界でもトップレベルの大学が数多く集まっています。現在アメリカでの新型コロナウイルス感染拡大のため渡米することは難しい状況ですが、一流の研究者とオンラインでつながり幅広い学びを追求するプログラムを2つご紹介します。有料プログラムとなりますが、興味のある生徒諸君はぜひ検討してみてください。

①Bostonオンライン研修（中学生コース）

ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学（MIT）を歩き未来の進路を考える

日程：3月上旬 基礎研修（約120分）本校で対面にて実施予定（ボストンブリッジ日本人スタッフが担当するオリエンテーション）

3月23日（火）9：00～11：30

世界一の学びの街ボストンを知ろう、自分の夢とグローバルな未来開拓
マカレスター大学日本語学士、ハーバード大学教育学修士によるライブセッション
ライブセッション振り返り

3月24日（水）9：00～11：30

MITで学ぶということ、ハーバード大学で学ぶということ
MITメディアラボ研究員、ハーバード大学大学院生によるライブセッション
ライブセッション振り返り

*時差の関係でライブセッションは日本時間の午前中に実施されます。講師、講義内容は変更になる場合もあります。

募集人数：中学生15名～25名

やる気があれば学年及び英語力は問いません。

費用（税込み）：15名以上 @117,000円 20名以上 @99,800円

最低催行人数は10名

プログラム運営：ボストンブリッジ（代表：蝦名 恵 東京事務所は東京台東区）

取扱旅行社：日本旅行東京教育旅行営業部

②Bostonオンライン研修（高校生コース）

SDGs「すべての人に健康と福祉を」ボストンで出会う最先端の医学

日程：3月上旬 基礎研修（約120分）本校で対面にて実施予定（ボストンブリッジ日本人スタッフが担当するオリエンテーション）

3月25日（木）9：00～11：00

栄養学と予防医学 高血圧予防食(DASH)が開く持続可能な健康社会
ハーバード大学公衆衛生学スクール上級研究員によるライブセッション
ライブセッション振り返り

3月26日（金）9：00～11：00

再生医学と医療ビジネス 再生医学研究が創造する新時代の医療ビジネス群
ハーバード大学幹細胞研究所最高責任者によるライブセッション
ライブセッション振り返り

3月27日(土) 9:00~11:00

感染症と施設 感染症パンデミックに対応した新しい施設設計
PLアーキテチャー代表取締役によるライブセッション
ライブセッション振り返り

*時差の関係でライブセッションは日本時間の午前中に実施されます。講師、講義内容は変更になる場合もあります。

募集人数：高校生15名~25名

やる気があれば学年及び英語力は問いません。

費用(税込み)：15名以上 @139,000円 20名以上 @119,000円

最低催行人数は10名

プログラム運営：ポストブリッジ(代表：蝦名 恵 東京事務所は東京台東区)

取扱旅行社：日本旅行東京教育旅行営業部

①、②とも興味のある生徒諸君には簡単なパンフレット及び申込書を差し上げます。来年1月9日(土)始業式以降にグローバル教育部までどうぞ。

申し込み期間は2021年1月9日(土)~1月23日(土)朝8時までとします。申込書をグローバル教育部へ提出して下さい。



Harvard Business School



MIT Media Lab

上掲の写真はプログラム運営団体のポストブリッジよりご提供いただいた過去の研修風景です(本校生徒ではありません)。今回は残念ながら訪米できませんので上記のようにはまいませんが、ライブセッション中は画面越しに第一線で活躍する研究者に質問することができます。

*今号が今年最後の発行となります。3月から長期の休校、6月から分散登校を経ての通常授業再開と異例尽くめの2020年でした。この年末年始も気軽に外出とはいきませんが、どうか皆さん良いお年をお迎え下さい。来年も皆さんに役立つ情報発信に努めたいと思います。引き続きご愛読のほど、よろしくお願い致します。